

第10回 演奏者からの提言 ～作曲家のソルフェージュ～

日本を代表する演奏家による「演奏者とソルフェージュ」の関係を探るシリーズ。第10回は作品を創る側の作曲家をお迎えします。創る側はソルフェージュをどの様に意識されているのか、全く意識されないのか、指導の時だけ意識されるのか、はたまた演奏者に求めたい能力とは、等々。今までとは違った視点での興味深いお話しが聞かれることと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

2020年2月2日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場：東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス TCM ホール



西岡 龍彦 *Tatsubiko NISHIOKA*

作曲家、東京藝術大学名誉教授、桐朋学園大学音楽学部、東京大学教育学部非常勤講師。管弦楽、アンサンブル、独奏楽器のための作品、コンピュータミュージック、イベントのための音楽、映像のための音楽を作曲。近年は、22.2マルチチャンネル音響システムによる作品制作や東京都現代美術館、国立新美術館、Bunkamuraザ・ミュージアム、日本銀行、薬師寺などの音楽プロデュースを行う。



新垣 隆 *Takashi NIIGAKI*

1993年桐朋学園大学音楽学部作曲科卒。桐朋学園大学の非常勤講師を務めながら作曲家兼ピアニストとして活動する。昭和期の作曲家の研究に従事し、現代音楽の作曲を主とする一方で映画、バレエ、CM音楽の作曲・編曲も数多く手掛ける。2014年2月、「交響曲第一番HIROSHIMA」「ヴァイオリンのためのソナチネ」等の作曲者であることを告白。2015年10月「ピアノ協奏曲新生」、2016年8月「交響曲連祷Litany」を発表。最近ではテレビ、ラジオ番組に出演するほか様々なジャンルの音楽家と共演し活動の幅を広げている。作曲を南聡、中川俊郎、三善晃、ピアノを森安耀子らの各氏に師事。



小六 禮次郎 *Reiji KOROKU*

作曲家。岡山市出身。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。主な作品として映画「ゴジラ」「初恋 お父さん、チビがいなくなりました」、NHK大河ドラマ「功名が辻」「秀吉」、連続テレビ小説「さくら」「天うらら」、世界劇「黄金の刻」「眠り王」、ラジオ深夜便「冬の旅」(倍賞千恵子)、石川さゆりシングル「歌、この不思議なもの」等、多方面にわたって活躍中。また、倍賞千恵子と共演するコンサートを全国で公演し、好評を得ている。東京音楽大学教授。



モデレーター
梶場 富美子 *Tomiko KOHJIBA*

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。国内外からの委嘱作品多数。別宮賞、芥川作曲賞受賞。ソルフェージュ関係の出版物も多い。楽譜は全音楽譜出版、音楽之友社、カワイ出版から出版されている。現在、東京音楽大学教授、東京藝術大学非常勤講師、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本現代音楽協会理事、日本ピアノ指導者協会評議員、他。

◎入場料無料

なお、正会員以外の方は以下の経費負担をお願い致します。

一般 3,000 円、学生 1,000 円、賛助会員(個人) 1,500 円

◎問い合わせ先

日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)

E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp

<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

Homepage



facebook

